

会議記録

会議の名称	総合教育会議
開催日時	平成28年11月29日（火）午後4時～午後5時20分
開催場所	市役所本庁舎3階応接室
出席者	<p>【出席委員】</p> <p>富岡市長、野原教育長、齋藤教育長職務代理者、本塚教育委員、西山教育委員、加藤教育委員</p> <p>【事務局職員】</p> <p>市長公室長、教育次長、教育総務課長、学校教育課長、教育総務課副課長、政策調査課長、同主幹、同主任</p>
傍聴人	0名
問い合わせ先 (所管課)	市長公室 政策調査課 048-524-1111（内線369、368）
内容	<p>【議題】</p> <p>① 学力向上対策について</p> <p>② その他</p> <p>【内容】</p> <p>① 事務局から、学力は県内トップクラスであること、また、学力日本一を目指すために市内全校がまとまって知徳体をバランス良く育てる学力向上対策に取り組んでいることなどを説明し、具体的な知の取組として、次の3点について、意見交換を行った。</p> <p>ア 全国学力・学習状況調査での取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学力日本一を目指すスケジュール」に則ったPDCAサイクルの市内全校での実施 ・アクティブ・ラーニングの実施 <p>イ 英語教育におけるラウンドシステム等の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラウンドシステムの実施 ・ALTの年間雇用及びALTを指導するALTの配置 ・モジュール学習の実施 <p>ウ くまなびスクールの取組</p> <p>○主な意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の基礎や家庭学習を定着させるために、小学生からくまなびスクールを実施してほしい。 <p>⇒小学校から中学校に学力をつなぐ考え方は重要であり、</p>

小学校での実施について、PTAや学校応援団など地域の方々に協力をお願いしたり、また、小学校と中学校との連携についてなど研究してみたい。

- ・くまなびスクールへの参加はどのように呼び掛けているか。
⇒くまなびスクールの参加は全ての生徒を対象としているが、特に気になる生徒については個々の状況に応じて丁寧に呼び掛けを行っている。
- ・ALTが学校教育の中で機能した場合、卒業時に7割の生徒が英検3級を取得できる見込みはあるのか。
⇒7割は相当高い数字ではあるが、現在、国の英検3級の取得目標である60%を超える状況にある。
- ・ラウンドシステムの効果を教えてほしい。
⇒テストの点数の伸びを比較したところ、先行実施した4校は伸び率が高く、その中でも一番早く実施している学校は特に高かった。点数だけでなく、ラグビーワールドカップに来訪する外国人に案内などをするレベルも達成できるのではないかという感触を持っている。
- ・ラウンドシステムの考え方は、中学校にこだわることなく小学校に適用できるのか。
⇒小学校でも適用できる。ポイントは授業を楽しく笑顔で行うことで、これは全教科で生かせると考えている。

② その他

- (1) 事務局から、子供の貧困に関し、生活保護、児童扶養手当、就学援助の推移において、近年増加していたが、経済情勢の改善などにより、26年度、27年度からは安定推移や減少傾向であることを説明し、意見交換を行った。

○主な意見等

- ・生活保護受給者のうち、外国人の割合は増えているのか。
⇒平成26年10月が45世帯2.4%、27年度が50世帯2.7%、28年度が54世帯2.9%と増加している。
- ・外国籍の児童生徒はどのくらいいるのか。くまなびスクールが小学生からあれば、外国籍の児童生徒も授業の遅れに対応できるのではないか。
⇒平成28年5月現在で小学校が78人、中学校が36人で合わせて114人である。外国から来た児童を指導する教員を1人配置し、また、外国語を話せる方を派遣するなどしている。